修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　鴻田好通
〒102-0074
東京都千代田区九段南
2－6－8九段南ビル
☎03（5275）6651
http://shugakuryoko.com
e-mail shuryo@h2.dion.ne.jp

財団法人全国修学旅行研究協会（全修協）は、日本の教育の振興に寄与することを目的とし、教育を熱愛し子供たちの幸福を希求する人々の支持を得て、修学旅行の改善向上を目指して、全国的規模で活動する文部省許可の教育研究財団です。

丸ノ内鍛冶橋駐車場存続へ

駐車料金は値上げ

東京駅を利用する修学旅行生をはじめとする団体の貸切バス駐車場は、かつて東京駅八重洲口や丸の内側で乗降が行われていたが、駐停車による周辺の交通渋滞が激しく、数年前より現在使用中の、丸ノ内鍛冶橋駐車場が貸切バスの暫定駐車場として利用されていた。

丸ノ内鍛冶橋駐車場は当初、本年3月末をもって廃止の方向が予定されており、日本旅行業協会や東京バス協会等がこの駐車場を運営する(財)東京都駐車場公社に対し、その存続を交渉していたが、この度存続営業することが決定した。

存続営業にあたり、駐車料金は値上げとなったものの、東京駅周辺におけるバス乗降のできる駐車場として、本年4月1日から最長10年間は同公社が運営することとなり、永年に亘り懸案事項となっていた東京駅貸切バス駐車場問題は関係者の努力の結果、当面決着したものと思われる。

存続営業が決定した丸ノ内鍛冶橋駐車場（東京）

【丸ノ内鍛冶橋駐車場の駐車料金・営業時間】

○駐車料金　大型バス1時間2、800円、以後30分ごとに1、400円（以前は最初の1時間2、000円、以後30分ごとに1、000円）

○営業時間・誘導　7時から20時まで有人。20時以降は無人とし終日営業。

淡路島・丸山地区での漁村体験（名古屋市立城山中学校）

修学旅行としての「体験型学習」

(財)全国修学旅行研究協会
理事長　中西　朗

理事長に就任し、身の引き締まる感を覚える。先人の築かれた業績を失うことなく、新しい創意工夫を加味していくことが求められよう。変化する社会の中において、修学旅行の変容をどのように捉えていけばよいのであろうか。

多くの人々にとって学校生活時代の楽しい思い出として、修学旅行がある。しかし今、修学旅行を教育課程にどのように位置付けるかが大きな問題となっている。学校教育の方向を決定する学習指導要領では、修学旅行の目的はほとんど変化していない。その中心となる柱は、「集団行動を通して、社会的なルール・公衆道徳を学ぶ場であること」「文化・政治・産業等の重要地を見聞し、学習の集大成を図る」の2点である。これだけでは、これからの修学旅行の姿が描けない。この柱に何を加味させていくかということが重要である。

この修学旅行の姿を変える視点として、生涯学習という視点から見直していくことがあげられる。子供たちが自分らしく生きていくためには、ものの捉え方、学び方、考え方を身を持って体得していくことが重要である。自分を取り巻いている環境という問題については意味がなく、自分としてよりよい社会の創造に向けて、どのように努力していくのかという行動に裏打ちされたときに、体験という意味合いが生まれる。

「自然や社会の事象に対する疑問や驚き・感動を享受させる」ということである。予定に追いまくられた行動からじっくりと見つめ、感動まで高めていくことが必要である。第二に、「人間は地球のひとつの生命体として『共生の心』を感じさせる」ことである。人間というものは、この地球上のひとつの生命体に過ぎないのだということを体験としてしっかりと学ばせたいものである。第三に、「学校で学んだことを体験を通して深め、体験で得たものを学習に生かしていく」ことである。修学旅行を通して「知の総合化」を図っていこうということである。第四に、「多くの人々や自然に営みに触れ、自己の生き方を考える機会とする」ことである。

この点に、主眼をおきながら、修学旅行の方向を学校とともに見つめていきたいと思う。多大なるご指導・ご鞭撻いただければ幸いである。

自ら体験とは、経験に自己を投影させることといえよう。そのきっかけとして修学旅行を捉えることも重要だと思う。

そこで、修学旅行としての「体験型学習」の視点を提示したい。第一に挙げられることが、「学ぶ」ことである。

台湾修学旅行セミナー　九州修学旅行フォーラム　を開催

(財)全国修学旅行研究協会は、海外修学旅行の目的地の一つとして、台湾修学旅行セミナー及び台湾現地研修会を、また中部地区からの修学旅行が増加している九州内での新しい体験学習を紹介する九州修学旅行フォーラムを関係機関の協力により開催する。

台湾修学旅行セミナー

- 開催日時　平成14年7月26日(金)　13時～16時
- 会　場　アルカディア市ヶ谷(私学会館)
- 後　援　台北駐日経済文化代表処、台湾観光協会
- 協　力　日本アジア航空、チャイナエアライン
- プログラム　(1)台湾修学旅行について　(2)日台交流の現状と課題　(3)台湾における学校交流について　(4)台湾修学旅行の魅力について　(5)台湾修学旅行の最新事情

九州修学旅行フォーラム

- 開催日時　平成14年7月5日(金)　15時～17時
- 会　場　メルパルク名古屋
- 協　賛　九州修学旅行誘致促進協議会
- 協　力　中部国際空港㈱、近畿日本ツーリスト㈱
- プログラム　(1)　九州内での新しい体験学習プランについて　(2)　2005年開校予定中部国空港について

問合せ・申込み先

財団法人　全国修学旅行研究協会
TEL 03-5275-6651　FAX 03-5275-6653
E-mail shuryo@h2.dion.ne.jp
詳細は修学旅行 HP　shugakuryoko.com

風紋

「旅行前に見せて貰ったスライドから『銀閣寺に行ったら見たい』というものがあった。向月台。白砂で作ったプリンのような形のものだが…。名前からいくと本来は、あの平らなてっぺんをへこませ、木の桶を埋め込み、水を張り、銀閣寺からその水に映った満月を見ていたにちがいない。地底の国の月を見るように…」▲その向月台を前に数人の先生が待機している。修学旅行のグループがやってくる。カメラ片手に写真をとり、必ず一声かけている先生がいる。タクシーの運転手さんに案内され、写真を撮って去るグループもある。先生と生徒とのやりとりは以外と少なく、そこそこに去る。東求堂は殆ど目を向けられない▲班別自主見学が盛んになり始めた頃、京都仏教会との懇談会を持った。班別になって、事前学習を良くして来る。難しい質問をするなど概して好評であった▲修学旅行はその充実を求めて、見学・学習・体験など班別へと移行してきているが、より良い修学旅行の基底にあるのは、修学旅行への生徒の夢や期待である。集団であれ、班別であれ、先ず一人一人の生徒に夢や期待を確り持たせること、そしてそれをどう発展させるかである。（鴻）

教育の窓

学力問題再考

東京農業大学教授
元文部省主任視学官
渡部邦雄

一　週五日制の課題

どうして学校週五日制が悪者になるのか、不思議に思う。

世界の動向、社会全体の流れを睨んで、我が国もようやく五日制に踏み切ったのである。

子どもたちの生活は、大人社会の生活と無縁ではない。家族の生活リズムの中で、その一員として毎日の生活を送っている。

教育は学校だけの専売ではない。家庭や地域社会の教育力と合わせて、はじめて実を結ぶのである。五日制になって、ようやくその本来の姿を取り戻すことになったと言える。

二日間の貴重な時間を、遊びや家族との触れ合い、様々な体験などを通してこそ、本来の「生きる力」を獲得することができるのである。諸外国の例を参考にしたいものだ。

論調の多くは、授業時間数や指導内容が減少したから、学力が低下したととらえているようだが、短絡すぎはしないか。

Y新聞社の調査（十四年度）によると、全国の小、中、高の学校では、時間数の確保のため、行事や儀式を減らしたところが五三％もあり、子どもたちが楽しみにしている学校行事を絞り込んだり、長期休業を短縮したりするなどの例が多いと伝えている。

一方、日本の教育は戦中から今日まで、疎開、戦災、食料難、青空教室、二部授業、五日制、すし詰め教室など多くの課題を経験してきた。しかし、学力低下が今日ほど問題にはされなかった。その違いは何かは一考に値する。

単なる時間数や指導内容量の問題でないと考えるが如何なものか。

二　学習習慣の確立

基礎的、基本的内容を習得するには、意欲的学習態度、ドリル学習、家庭での予習、復習など学習習慣が欠かせない。教師の指導と並ぶ重要な要素である。

学校以外の勉強時間についてのN研究所の調査では、中国で二時間以上勉強している生徒の割合は中学生は六六・九％、高校生五八・七％であるのに対して、日本はそれぞれ二〇・一％、一四・七％となっている。勉強を全然やらない割合は、中国は、二・九％、八・三％、日本は、一八・四％、四一・八％である。

学校の授業時間数だけを問題にするのではなく、学校以外の毎日の勉強時間が大切なのである。さらには、学習態度に関する基本的しつけも重要であり、家庭の責任には特に大きなものがある。

学力低下問題は学校、家庭、社会環境の複合した要因から起きている。単純に授業時間数や指導内容の減少だけを問題にしても解決にはつながらないのだ。

そのことを保護者や地域社会の人々に理解してもらい、協力して学力向上に取り組むことが重要である。

三　読み書きそろばん

学習成果をあげるには、先ず読書であろう。読書こそ学習への第一歩である。今日の様に文字離れが進行しては、学習の基礎、基本すら理解できない。読書は物の見方、考え方、感じ方を体得させ、論理的思考力や判断力、推理力、想像性、感性など多様な力を育む上で重要な役割をはたしている。マンガではなく、文字を読むくせをつけるべきである。読書はさらに書く力をも磨いていく。

「そろばん」は、四則計算など数学に関する基礎的、基本的内容を確実に習得することを意味しており、その後の学習を発展させる必要条件である。

私たちは、学力低下問題を学校教育だけで考えるのではなく、社会病理として把握し、その解決に向けて、総合的に取り組んでいくことが大切なのである。

修学旅行実施事例紹介 25

淡路・神戸の震災学習と伝統芸能・漁業体験

名古屋市立城山中学校

1．学校紹介

名古屋市立城山中学校（梅本哲男校長）

昭和22年、名古屋市立城山中学校として創立。体力づくり、障害体験活動を通じて豊かな人間性を培う事を目的に、様々な活動を展開している。修学旅行では伝統工芸等の体験学習を積極的に取り入れている。平成12年度から学校ホームページを開設し、情報教育の分野においても先進的な取り組みを行っている。

URL http://www.shiroyama-j.nagoya-c.ed.jp/

1・2学年次の校外学習活動としては、〝見て・聞いて・体験する〟ことを目的に、地元の地域文化学習、車いす・手話体験やボランティア活動を通じ、福祉活動の重要性について学習した。

2．旅行期日・人員

旅行期日：平成13年6月12日（火）～6月14日（木）（2泊3日）

参加人員：3年生190名

3．特色ある取り組み

内容

◎震災学習…阪神・淡路大震災（＝兵庫県南部地震）についての講演、北淡町震災記念公園（フェニックスパーク）見学

◎産業体験…伝統芸能集（淡路人形浄瑠璃）体験、漁村体験

◎兵庫県内班別分散活動

4．学習内容

◎震災学習（行程第1日目）

内容：「北淡町震災記念公園（フェニックスパーク）」で、阪神・淡路大震災時の状況を伝える講演を受け、震災記念館・野島断層と、地震に傷つきながらも耐えぬいた家屋の状況を見学した。また、写真・パネルの活用により、震災の実態を知り、災害時に落ち着いて行動すべき心構えを学んだ。全国から集まったボランティア・救援物資が被災した人々を励まし、今日のめざましい復興を成し遂げたことを認識した。

淡路人形浄瑠璃体験

◎伝統芸能・淡路人形浄瑠璃体験（行程第1日目）

内容：「淡路人形浄瑠璃館（大鳴門橋記念館）」にて、淡路の人形浄瑠璃についての学習を行った。実際の体験を通して、伝統芸能に携わる人々の努力を感じながら観賞を行った。

（一体の重い人形を何時間も持って、3人でタイミングよく動かしながら演ずることの大変さ、文化を継承していくことの大切さを学んだ。）

◎丸山地区の漁村体験（行程第1・2日目）

内容：地元漁師の指導により、救命道具を身につけて実際に漁船に乗船し、かご網・流せ網など日常行われている漁についての体験学習を実施した。（1日目は渦潮見学との選択、2日目は全員での地引き網体験）漁村の人々が誇りを持って日々の仕事に取り組んでいる様子を体感した。

※生徒たちの感想（抜粋）

「魚が捕れたこともうれしかったが、漁船に乗って風を切って進んだのがとても気持ちよくて最高でした！もう一度乗りたいです。」

「いままでに船に乗ったことはあったが、漁船というのには初めて乗りました。いつもと違う、海老や魚のにおいがしました。あんなに船に揺られたのは初めての体験でした。」

「今までに漁船に乗ったことがなかったから、船酔いもいい体験になりました。」

「漁船に乗ったのは初めてだったし、いつもTVで見ているような光景を、そのまま目の前で見ることができて感動しました。大漁で鯛もとれました！」

◎兵庫県内班別分散活動（行程第2日目）

内容：神戸を中心に、兵庫県内の班別での活動を行った。

※生徒たちの感想（抜粋）

主な研修地

・六甲山（神戸の自然）

「六甲山を散歩しました。僕たちはその途中で昆虫採集をしました。もっと険しい山道を期待していましたが、周りがゴルフ場ばかりの所に行ってしまいました。1日たくさん歩けて楽しかったです」

・北野異人館（明治時代の洋館）

「中までちゃんと見たのは「風見鶏の館」だけだったが、外から見ても中から見てもやはりレトロでよかったし、落ち着く感じがした。本家オランダ館ではオランダの民族衣装を着ることができたので、かなり恥ずかしかったが着てみた。木靴は初体験で歩きにくかった。普通に人が住んでいる家も異人館の建物として指定されているのには驚いたし、うらやましく思った。見物の後は北野天満神社に合格祈願に行った。長い階段を上って行ったので眺めは最高だった。神戸の街が一望できたし、風見鶏の館の風見鶏を見下ろすことができた。最後は疲れたが、とにかく楽しかった。」

・明石市（日本標準子午線の町）

「明石焼は期待以上に美味しかった。」「日本にも昔はいろいろな動物がいたことがわかった。」「天文博物館に展示してある物はすごかった。文化博物館では、火起こしなどの体験学習コーナーがあった。」

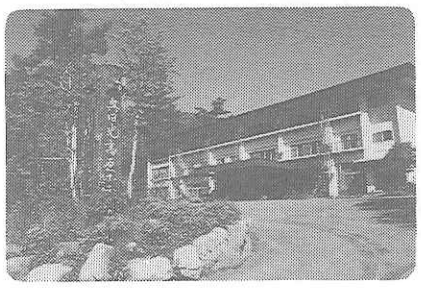
5．事前・事後学習

◎事前学習：インターネット・各種資料を参考に、グループ毎に、行程第2日目の分散活動の内容を選定し、情報を集めた。特別な企画は実行委員が計画を立案し、全体を通じて、生徒・教員・保護者が協力して計画を作成した。

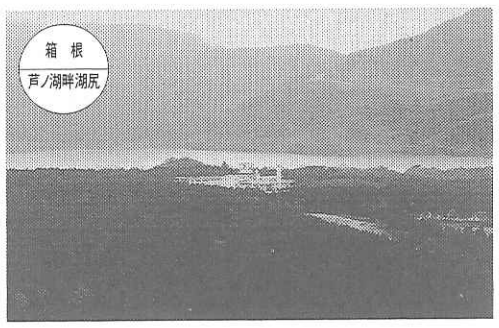
◎事後学習：修学旅行を通して得られたこと・思い出を、プリントに記録した。

期　日	行　　程
6/12(火)	名古屋――新神戸＝＝北淡町震災記念公園＝＝淡路人形浄瑠璃館＝＝＝選択コース----------丸山地区民宿11件に分宿(泊) A：渦潮見学 B：丸山地区の漁村体験
6/13(水)	丸山地区（地引き網体験）＝＝神戸（→兵庫県内班別分散活動）＝＝＝神戸港ナイトクルーズ＝＝神戸市内(泊)
6/14(木)	神戸市内＝＝ユニバーサル・スタジオ・ジャパン＝＝田代本（解散）

●修学旅行/林間学校/スキー体験学習
奥日光の自然と仲間たちとの語らい……



夏は林間学校、冬はスキー
自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください
鉄筋3階建／小学生550名／中学生550名／高校生450名収容／大浴場あり
奥日光高原ホテル
〒321-1662 栃木県日光市湯元温泉
TEL. 0288(62)2121(代表)



豊かな自然が息づく湖尻高原の中心。
箱根高原ホテルは、深い緑の中に
700名収容の大ホールや、
中小の研修室など、
数々の施設が整っています。
その他体験コースもいろいろ。
心にのこる想い出づくり
感動づくりに素晴らしい環境です。
湖尻高原の大自然に抱かれて
ハートフル・コミュニケーションをお約束します。
箱根高原ホテル
〒250-0500 神奈川県足柄下郡箱根町湖尻
☎(0460)4-8595㈹ FAX.(0460)4-9488